

平成30年10月15日審議

1

申請者	作業療法士	鈴木 健之
	2018-13	てんかん患者における統合失調症認知機能簡易評価尺度日本語版(The brief assessment of cognition in schizophrenia Japanese version:BACS-J)、浜松方式高次脳機能検査の有用性の検討
研究の概要	てんかん患者の認知機能検査として知能検査でWAIS-III、記憶検査でWMS-Rが頻用される。これらの検査は、検査時間を要し、また学習効果による使用間隔の制限があるため、リハビリテーションの効果判定としての使用が困難な場合がある。そのため、WAIS-IIIやWMS-Rと相関性が高く、検査時間がかからない簡易スクリーニング検査が必要と考える。今回、てんかん患者の認知機能の簡易スクリーニング検査としてBACS-J、浜松方式高次脳検査の有用性を検討する。	
判定	承認	本申請は承認された。